



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3765 URL <http://www.gungho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO財務経理本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	61,443	△25.4	26,666	△35.7	26,334	△36.6	16,807	△36.1
27年12月期第2四半期	82,340	△12.7	41,464	△22.9	41,533	△21.3	26,301	△18.0

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 16,112百万円(△38.0%) 27年12月期第2四半期 26,006百万円(△15.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	17.52	17.50
27年12月期第2四半期	23.06	23.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	118,735	102,309	84.8
27年12月期	108,078	90,356	81.9

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 100,637百万円 27年12月期 88,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	4.50	4.50
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 27年12月期期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 1円50銭

3. 平成28年7月29日開催の取締役会において、当第2四半期末の配当金を無配とすることを決議いたしました。
 なお、当期末配当額につきましては未定であります。

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期毎に実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期2Q	1,057,892,400株	27年12月期	1,057,892,400株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	98,417,678株	27年12月期	98,417,678株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期2Q	959,474,722株	27年12月期2Q	1,140,430,174株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画等については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。
- ・平成28年7月29日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書(第2四半期連結累計期間)	6
四半期連結包括利益計算書(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、非常に速いスピードで変化を遂げ、スマートフォンゲーム市場では新作ゲームが各社より大量に市場へ投入されております。また、クオリティの高いゲームを求めるユーザーニーズに応えるために、開発期間の長期化や開発人員の確保、プロモーションコストの増大などにより、競争環境は一層厳しさを増しております。一方で、VR（バーチャルリアリティ）端末、新型ゲーム機の発売、家庭用ゲーム機を使ったオンラインゲーム市場が緩やかに増加してくるなど、プラットフォームの変化による新たな市場の創出も見込まれ、ゲーム市場の新たな発展に期待が寄せられます。

このような環境の中、当社では、新作ゲームの開発及び既存ゲームのMonthly Active User（月に1回以上ゲームにログインしている利用者数）の維持・拡大に注力してまいりました。

売上の多くを占めるスマートフォン向け「パズル&ドラゴンズ（以下「パズドラ）」では、有名キャラクターとのコラボイベントや、アップデートを継続的に実施したことに加え、平成28年5月29日にはリアルイベント「ガンホーフェスティバル2016」を開催いたしました。本イベントの累計来場者数（全国9か所のイベント来場者数を含む）は過去最高の119,371名を記録し、サービス開始から5年目に突入した今もなお、幅広い層のユーザーに楽しまれており、国内のスマートフォンゲーム市場が飽和状態にあるなか、業績の維持に努めてまいりました。海外においては、平成27年9月よりテレビCMを開始した北米版「パズドラ」が、平成28年5月1日に累計ダウンロード数1,000万を突破いたしました。また、中国版「パズドラ」では、中国の総合的なインターネットサービスの大手Tencent社と中国ゲームユーザーの嗜好に合わせた改変を行い、平成28年5月26日より事前登録を開始し、7月19日にAndroid版、7月20日にiOS版の正式サービスを開始しております。

新作ゲームでは、平成28年7月28日に発売を開始したニンテンドー3DS™向け冒険パズルRPG「パズドラクロス」、平成28年中に正式サービス開始予定のスマートフォン向けゲーム、プレイステーション®4向けオンラインアクションゲーム「LET IT DIE（レット イット ダイ）」の開発を行ってまいりました。中でも「LET IT DIE」は、平成28年4月に米国ボストンで開催された大規模ゲームイベント「PAX EAST 2016」及び平成28年6月に米国ロサンゼルスで開催された世界最大のコンピュータゲーム見本市である「E3 2016 (Electronic Entertainment Expo 2016)」にプレイアブル出展し、ユーザーの皆様から高い評価を頂くことができました。本作品は、家庭用ゲーム機であるプレイステーション®4向けではありませんが、基本無料アイテム課金方式のオンラインゲームとして北米への先行配信を予定しております。

パートナーパブリッシング事業では、平成28年4月14日にプレイステーション®4向けステルスアドベンチャーゲーム「Republique（リパブリック）」の発売を開始いたしました。現在は、ゲームロフト社（本社：フランス）から日本国内におけるパブリッシング権を獲得したゲームロフト社のスマートフォン向けゲーム「ディズニー マジックキングダムズ」を、平成28年中の正式サービスへ向け準備を進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間は売上高61,443百万円（前年同期比25.4%減）、営業利益26,666百万円（前年同期比35.7%減）、経常利益26,334百万円（前年同期比36.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益16,807百万円（前年同期比36.1%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における資産合計は、118,735百万円（前連結会計年度末比10,657百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い現金及び預金が増加したことによります。

負債合計は、16,425百万円（前連結会計年度末比1,295百万円減少）となりました。これは主に、法人税等を支払った結果、未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は、102,309百万円（前連結会計年度末比11,953百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期毎に実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表及び当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,045	95,813
売掛金	15,024	9,443
有価証券	1,388	1,015
商品	10	10
仕掛品	1	48
繰延税金資産	778	793
その他	1,196	1,569
貸倒引当金	△32	△26
流動資産合計	99,413	108,669
固定資産		
有形固定資産合計	256	1,067
無形固定資産		
ソフトウェア	595	572
ソフトウェア仮勘定	2,925	3,017
その他	76	87
無形固定資産合計	3,597	3,677
投資その他の資産		
投資有価証券	1,620	1,392
繰延税金資産	502	677
その他	2,812	3,357
貸倒引当金	△123	△106
投資その他の資産合計	4,811	5,321
固定資産合計	8,665	10,066
資産合計	108,078	118,735

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	406	467
短期借入金	77	765
1年内返済予定の長期借入金	936	193
未払法人税等	10,209	9,593
賞与引当金	12	6
その他	5,422	4,259
流動負債合計	17,065	15,286
固定負債		
長期借入金	158	62
退職給付に係る負債	12	11
その他	485	1,066
固定負債合計	656	1,139
負債合計	17,721	16,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,469	5,469
利益剰余金	119,937	132,427
自己株式	△42,314	△42,314
株主資本合計	88,430	100,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121	—
為替換算調整勘定	△11	△282
その他の包括利益累計額合計	109	△282
新株予約権	176	328
非支配株主持分	1,639	1,344
純資産合計	90,356	102,309
負債純資産合計	108,078	118,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	82,340	61,443
売上原価	27,188	20,461
売上総利益	55,152	40,981
販売費及び一般管理費	13,687	14,314
営業利益	41,464	26,666
営業外収益		
受取利息	91	35
為替差益	49	—
その他	28	22
営業外収益合計	168	57
営業外費用		
支払利息	25	14
自己株式取得費用	58	—
為替差損	—	365
その他	15	9
営業外費用合計	98	389
経常利益	41,533	26,334
特別損失		
減損損失	23	514
特別損失合計	23	514
税金等調整前四半期純利益	41,510	25,820
法人税、住民税及び事業税	15,299	9,346
法人税等調整額	261	△190
法人税等合計	15,561	9,156
四半期純利益	25,949	16,663
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△351	△143
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,301	16,807

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	25,949	16,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	△121
為替換算調整勘定	1	△430
その他の包括利益合計	56	△551
四半期包括利益	26,006	16,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,352	16,414
非支配株主に係る四半期包括利益	△346	△302

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 配当金支払額

決議日	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年 2月3日 取締役会	普通株式	利益剰余金	3,443	3.00	平成26年 12月31日	平成27年 3月9日

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年4月28日開催の取締役会決議に基づき、公開買付けによりソフトバンク株式会社から自己株式188,235,200株(取得価額79,999百万円)を取得しております。

また、平成27年6月24日開催の取締役会決議に基づき、平成27年6月30日付で自己株式94,117,600株を消却しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が39,533百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が42,314百万円となっております。なお、ソフトバンク株式会社は平成27年7月1日付でソフトバンクグループ株式会社に商号変更しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

決議日	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年 2月2日 取締役会	普通株式	利益剰余金	4,317	4.50	平成27年 12月31日	平成28年 3月7日

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得及び自己株式の公開買付け)

当社は、平成28年6月21日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得を行うこと及びその具体的な取得方法として、自己株式の公開買付けを行うことを決議し、自己株式の取得及び自己株式の公開買付けを実施いたしました。

(1) 買付け等の目的

当社は、当社の主要株主でありその他の関係会社である第二位株主のソフトバンクグループ株式会社より、ソフトバンクグループ株式会社及び当社の第四位株主のソフトバンク株式会社の保有する当社普通株式の一部につき売却の打診を受けたため、当該株式を自己株式として取得することについて具体的に検討いたしました。

その結果、当社が当該株式を自己株式として取得することは、当社の1株当たり当期純利益(EPS)の向上や自己資本当期純利益率(ROE)等の向上に寄与し、株主の皆様に対する一層の利益還元につながるかと判断いたしました。また、自己株式の具体的な取得方法につきましては、株主間の平等性、取引の透明性の観点から十分に検討を重ねた結果、公開買付けの手法が適切であると判断いたしました。

さらに、かかる自己株式の取得を行った場合においても、当社の財務の健全性や安定性は今後も継続できるものと判断いたしました。

(2) 自己株式の取得に関する取締役会の決議内容

- | | |
|-------------|--|
| ① 取得する株式の種類 | 普通株式 |
| ② 取得する株式の総数 | 248,300,100株(上限)
(発行済株式総数1,057,892,400株に対する割合 23.47%) |
| ③ 取得価額の総額 | 73,000百万円(上限) |
| ④ 取得する期間 | 平成28年6月23日から平成28年8月16日まで |

(3) 買付け等の概要

- | | |
|-----------|--------------------------|
| ① 買付け予定数 | 248,300,000株 |
| ② 買付け等の価格 | 1株につき294円 |
| ③ 買付け等の期間 | 平成28年6月23日から平成28年7月21日まで |
| ④ 決済の開始日 | 平成28年8月16日 |

(4) 買付け等の結果

- | | |
|------------|--------------|
| ① 応募株式数の総数 | 251,037,412株 |
| ② 買付け株式の総数 | 248,300,000株 |
| ③ 取得価額の総額 | 73,000百万円 |